

寺田総務相の政治資金疑惑が、国会で野党から追及されます。同氏の政治団体や後援会の資金の動きに不可解な点が次々と浮上し、政治資金収支報告書の偽記載も疑われるなど違法性は確厚です。政治資金を所管する総務相としての資質を疑問視する声が相次いでいます。寺田氏は4回、「職責を果たしていただき」「辯任を拒否」、塙田文雄首相も続投させを終勢です。統一協会との癒着だけでなく、「政治」と「カネ」の疑惑でも徹底解明と説明責任を果たされないまま政権への不信任は繰り返す。寺田氏は閣僚を辞任すべきですよ。

寺田の政治資金疑惑は10月6日
故人の名で報告書提出

寺田氏の政治資金

主張

田辺氏の「週刊文春」が最初に報じました。市田氏が代表の「田辺政治団体」「田辺政治団体の選舉区支部」と隸属する政治団体「市田総理後援会」の政治資金収支報告書では、2団体は事務所（大鹿原町）の建物を所有す
ます。2団体は棟が一部を所有す

なうと主張しますが、議決などは示してねじりや発言を隠さないが、寺田氏の関係政治団体「寺田稔竹原後援会」(広島県竹原市)の19年と20年の政治資金収支報告書には、「会計責任者として19年12月に亡くなった人が記載されてこた」とも問題になっています。

たのは政治資金規正法の規定によると過及しました。寺田氏は、規定違反を認めつつも「罰則規定はない」と断り直りました。

会計責任者は、収支報告書に「監査に押印した書類等を添付すべし」となっています。提出時点で会計責任者は「へなつている」とか

の建物に事務所を置いています。『文春』によれば、寺田氏の大田秘書官は、実際は支払われていないと証言しています。

問題賃借をかばい続ける政権が、国民の信頼を失うことは山際大志郎前経済再生担当相の問題で証明され、秋葉廣也復興相も政治資金の不透明な流れが追及されています。「政治とカネ」をめぐっても岸田首相の任命責任が厳しく問われています。